



2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明会

2024年11月

証券コード
6623

- 1. 2025年3月期第2四半期決算概要**
- 2. 2025年3月期通期見通し**

2025年3月期第2四半期決算概要

電力機器事業

各種変圧器、制御機器・電力システム等の製造・販売

■ 小型変圧器



■ 中型変圧器



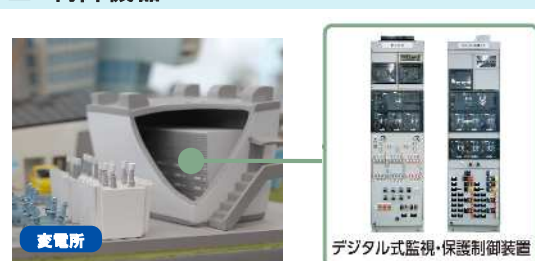
■ 大型変圧器



■ 電力システム



■ 制御機器



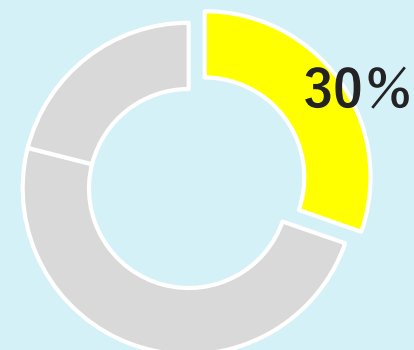
■ 産業システム



主な顧客

国内一般送配電会社
一般需要家（工場、ビル等）

売上高構成比



（2025年3月期2Q）

回転機事業

建物空調モータ、車載空調モータ、モータ応用機器等の製造・販売

■ 建物空調モータ



建物空調モータ

■ 車載空調モータ



電動車



車載空調モータ

■ モータ応用機器



電動ベッド



アクチエータ



水中ポンプモータ

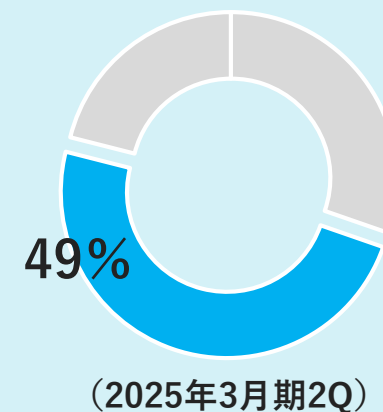


シャッター開閉機

主な顧客

家電メーカー
コンプレッサメーカー
介護機器メーカー
ポンプメーカー 等

売上高構成比



プリント基板事業

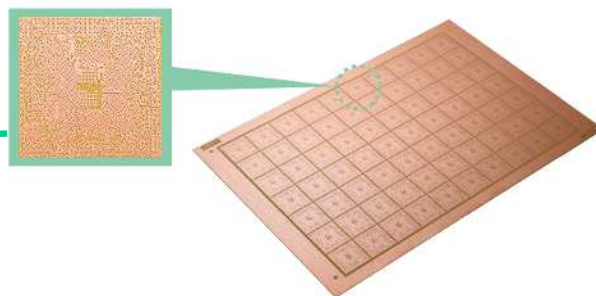
プリント配線板等の製造・販売

※2025年3月期より、従来回転機事業に属していたプリント基板事業を分離。

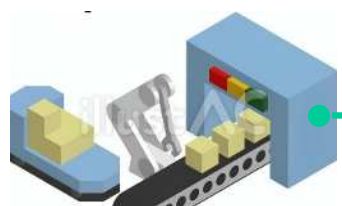
■ パッケージ基板用コア



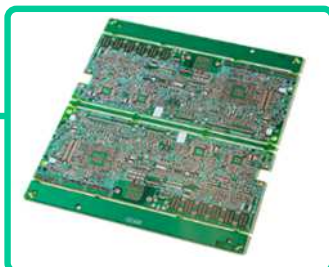
データセンタ用サーバ等のCPU、
ゲーム・車載部品等のGPU



■ 一般基板



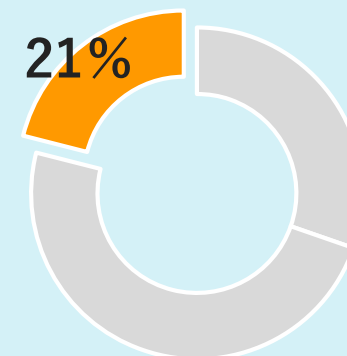
FA制御機器、車載制御装置等の
制御基板



主な顧客

パッケージ基板メーカー
FA機器メーカー 等

売上高構成比



(2025年3月期2Q)

2025年3月期第2四半期 連結決算概要



- 前年同期比で増収増益。売上高は過去最高。電力機器・回転機・プリント基板の各事業で増収。各利益は電力機器の増収と回転機の売上総利益率改善により増益。
- 当初予想比で売上高はほぼ横ばいも、各利益は生産性向上等による原価低減が進んだことや、製品構成の変化などにより増益。

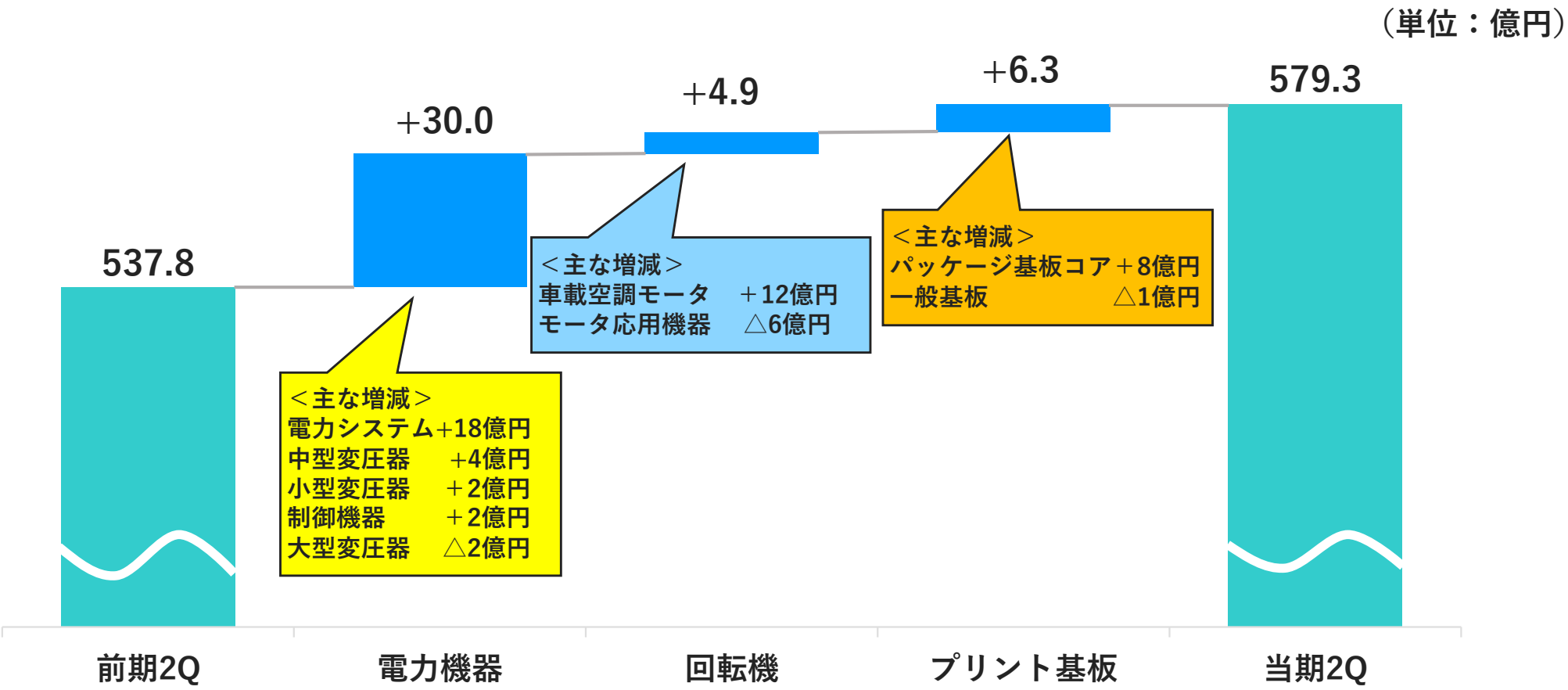
(単位：億円)

	当初 2Q予想	当初予想比		当期 2Q実績	前年同期比		前期 2Q実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	570	+ 9.3	+ 1.6%	579.3	+ 41.4	+ 7.7%	537.8
営業利益	27	+ 13.7	+ 50.9%	40.7	+ 8.1	+ 25.0%	32.5
経常利益	27	+ 18.5	+ 68.7%	45.5	+ 2.0	+ 4.8%	43.4
親会社株主に帰属 する中間純利益	19	+ 13.0	+ 68.7%	32.0	+ 1.8	+ 6.3%	30.1

売上高増減要因（前年同期比）



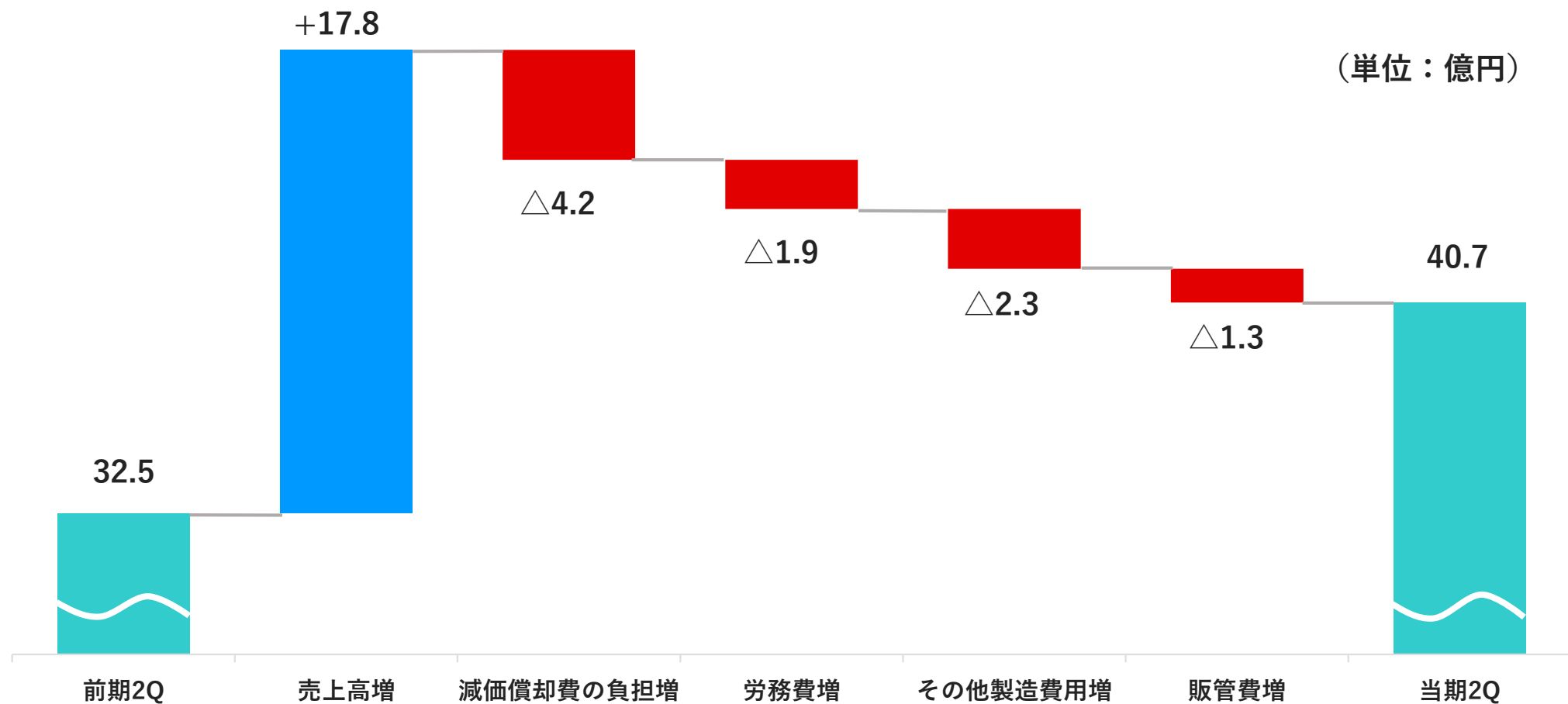
- 前年同期比41.4億円の増収。
- 電力機器は電力システムをはじめ、全般的に増収。回転機は車載空調モータの増加により増収、プリント基板はパッケージ基板用コアの増加により増収。



営業利益増減要因（前年同期比）



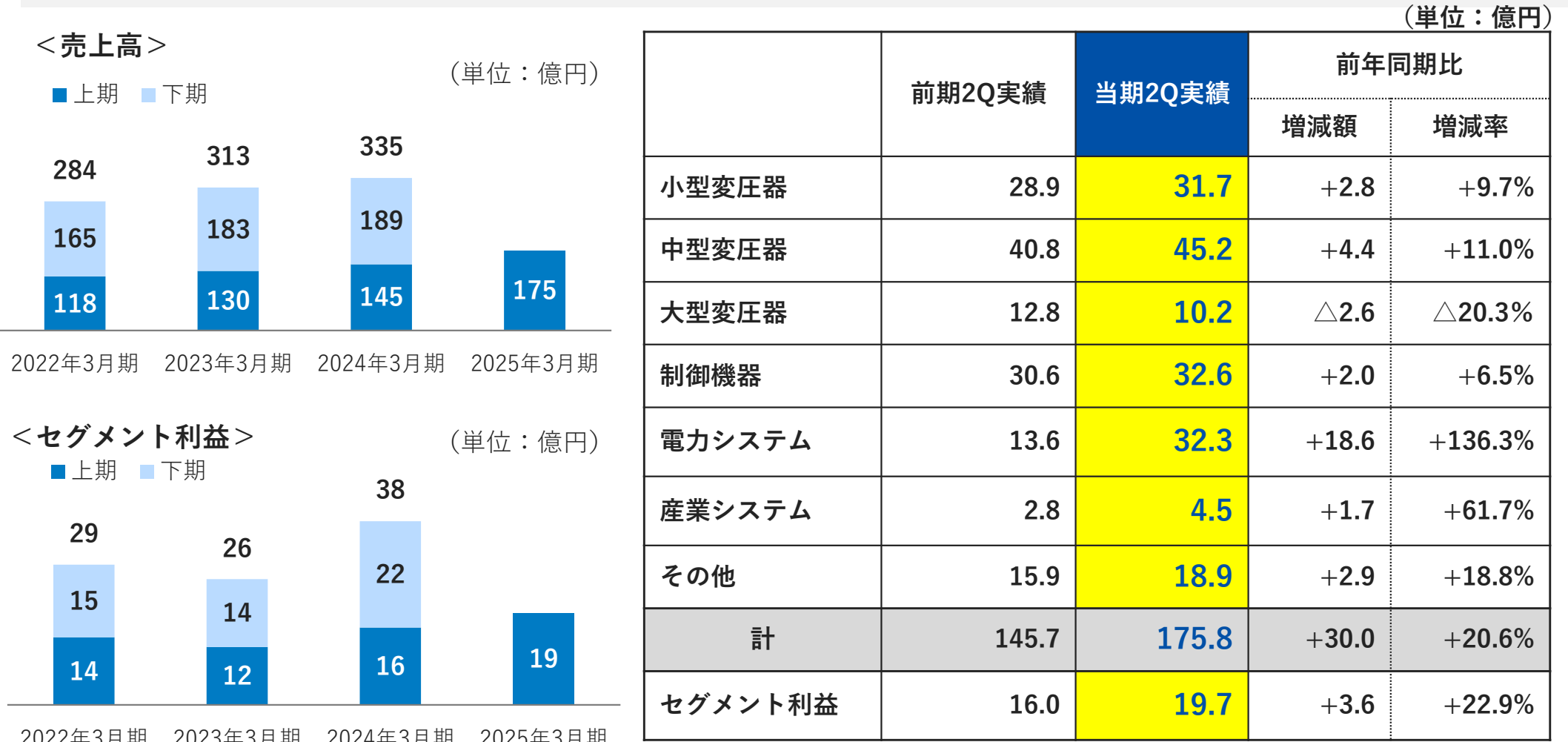
■ プリント基板事業で新工場（新発田工場）の稼働開始により減価償却費と労務費が増加したが、電力機器事業の増収および回転機事業の売上総利益率改善により増益。



電力機器事業の業績



- セグメント全体で増収増益。
- 売上高は、電力システム(海外電力インフラ工事、小水力発電)および中型変圧器(産業用トップランナー変圧器)の売上増により、前年同期比で大幅増加。
- セグメント利益については、増収効果により増益。

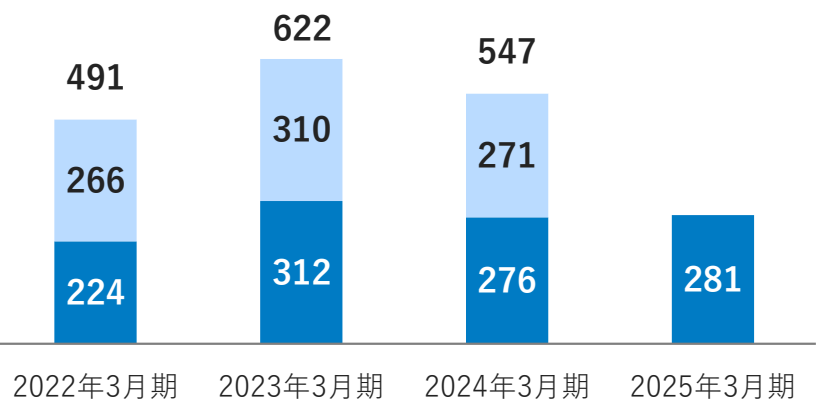


回転機事業の業績

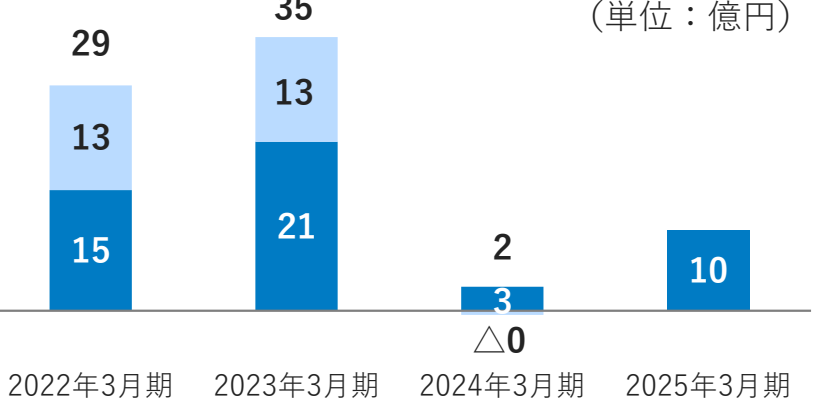


- セグメント全体で増収増益。
- 売上高はモータ応用機器が減少、建物空調モータはほぼ横ばいであったが、車載空調モータが伸び増収。
- セグメント利益は、車載空調モータ中心に国内外の拠点で生産性向上など原価低減が進み増益。

<売上高> ■ 上期 ■ 下期 (単位：億円)



<セグメント利益> ■ 上期 ■ 下期 (単位：億円)



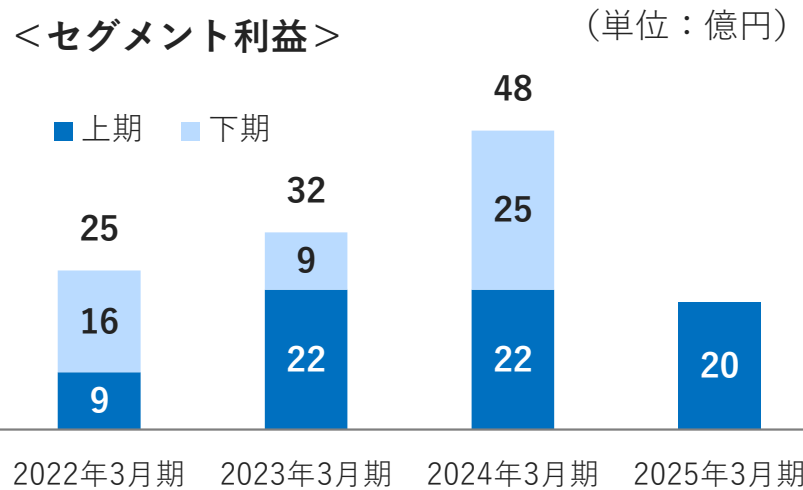
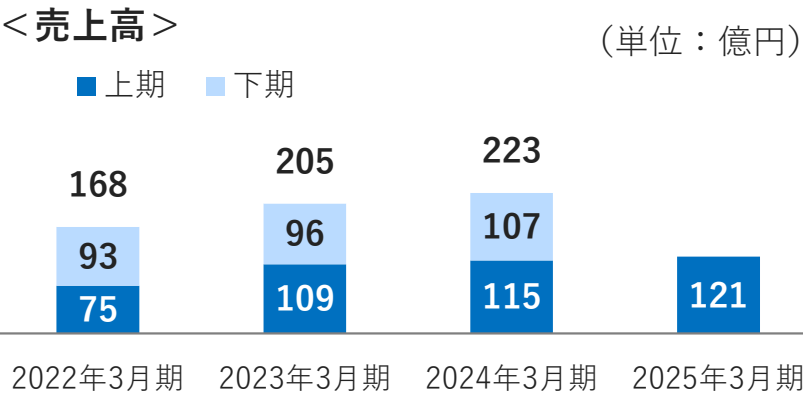
※前期以前の数値は、セグメント変更後の区分に修正している。

	前期2Q実績	当期2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
建物空調モータ	139.9	140.1	+0.1	+0.1%
車載空調モータ	87.7	99.9	+12.1	+13.8%
モータ応用機器	41.3	34.7	△6.6	△16.0%
その他	7.4	6.6	△0.7	△10.5%
計	276.5	281.4	+4.9	+1.8%
セグメント利益	3.1	10.6	+7.5	+239.0%

プリント基板事業の業績



- セグメント全体で増収減益。
- 売上高は、パッケージ基板用コアが好調を維持し増収。
- セグメント利益は、新工場（新発田工場）の立ち上げによる費用負担増等により減益。



※前期以前の数値は、セグメント変更後の区分に修正している。

	前期2Q実績	当期2Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
パッケージ基板用コア	95.7	103.7	+8.0	+8.4%
一般基板	19.8	18.2	△1.6	△8.1%
計	115.5	121.9	+6.3	+5.5%
セグメント利益	22.5	20.3	△2.1	△9.7%

バランスシートの状況

- 有形固定資産は前期末比10.5億円増加。パッケージ用基板コア、車載空調モータ、建物空調モータの生産能力増強のための設備投資による増。
- 自己資本比率は前期末から2.7%増加し57.1%。

資産の部

	当期2Q	前期末比 (2024年3月末比)
流動資産	855.3	△11.3
現預金	229.3	△33.6
売上債権	373.3	+11.6
その他流動資産	252.6	+10.6
固定資産	485.5	+8.7
有形固定資産	374.9	+10.5
その他固定資産	110.5	△1.8
資産合計	1,340.8	△2.6

負債・純資産の部

(単位：億円)

	当期2Q	前期末比 (2024年3月末比)
仕入債務	246.9	+9.1
短期借入金	36.4	+1.2
長期借入金	127.6	△4.3
その他負債	146.8	△46.4
負債合計	557.8	△40.3
純資産合計	782.9	+37.7
負債純資産合計	1,340.8	△2.6

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期末残高は33.6億円減少の222.4億円となった。営業CFで47.4億円増加するも、投資CFにおいてプリント基板事業と回転機事業で積極的な設備投資の実施により、65.3億円減少した。

(単位：億円)

	当期2Q	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	256.1	—
営業活動によるキャッシュフロー	47.4	税金等調整前中間純利益+46.0億円 減価償却費+26.6億円 棚卸資産の増加△16.6億円 法人税等の支払△12.0億円
投資活動によるキャッシュフロー	△65.3	有形固定資産の取得△65.5億円
フリーキャッシュフロー	△17.9	—
財務活動によるキャッシュフロー	△20.9	長期借入金の返済△6.0億円 自己株式の取得△4.0億円 配当金の支払△7.6億円
現金及び現金同等物に係る換算差額	5.1	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	222.4	—

2025年3月期 通期見通し

通期連結業績予想＜収支概要＞



(単位：億円)

	当初予想 (2024年4月発表)	当初予想比		当期修正予想 (2024年10月発表)	前期比		前期実績
		増減額	増減率		増減額	増減率	
売上高	1,200	△30.0	△2.5	1,170	+ 64.0	+ 5.8%	1,105
営業利益	70	0.0	0.0	70	△0.5	△0.8%	70
経常利益	70	0.0	0.0	70	△13.1	△15.8%	83
親会社株主に帰属 する当期純利益	48	0.0	0.0	48	△11.3	△19.2%	59

■ 売上高は、当初予想比30億円減の1,170億円を見込む。

- ◆電力機器事業およびプリント基板事業は当初予想並みに推移するものの、回転機事業は当初予想比で減収の見込み。
- ◆車載空調モータは、中国市場での日系自動車メーカーの苦戦などにより、前期比では増収も当初予想比では減少する見通し。
- ◆建物空調モータは、客先の在庫調整が進んでいるが中国不動産市場の低迷などにより、本格回復には至っていない。
- ◆プリント基板事業は、パッケージ基板用コアの需要は好転しつつあるものの、顧客によりバラつきがある。

■ 営業利益および経常利益は、当初予想どおりを見込む。

（営業利益70億円、経常利益70億円）

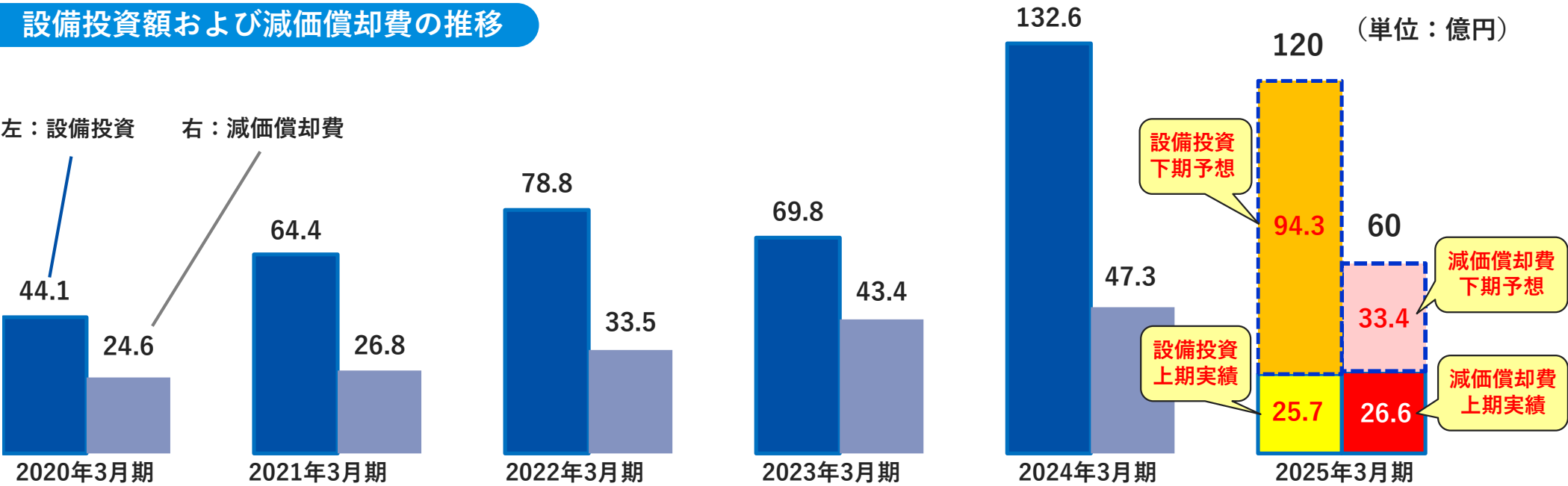
- ◆回転機事業での減収影響があるものの、設備稼働の効率化や歩留まりの改善などにより、当初予想どおりの利益を見込む。
- ◆為替影響については、1Qは円安に推移し4.1億円の為替差益が発生したが、2Q（7月～9月）は円高へ振れたことで為替差損が2.1億円が発生し、2Q累計としては1.9億円の為替差益となった。下期については、為替レートを1ドル145円と想定している。

設備投資額、減価償却費



- 設備投資 成長分野への積極的な設備投資を継続。
- 減価償却費 前中計期間の設備投資により増加。2025年3月期下期はさらに増加を見込む。

設備投資額および減価償却費の推移



2025年3月期の主な設備投資

	上期(実績)	下期(予定)	通期(予定)	稼働予定
パッケージ基板用コアの第4期生産能力増強（国内）	3億円	約47億円	約50億円	2025年7月より 順次稼働
車載空調モータの生産能力増強（国内外）	4億円	約18億円	約22億円	順次稼働中
建物空調モータの生産能力増強（国内外）	1億円	約15億円	約16億円	順次稼働中

主な設備投資の内容（2025年3月期）①パッケージ基板用コア



パッケージ基板用コア 第3期増強計画

パッケージ基板用コアの新たな生産拠点として、2024年4月に新工場(新発田工場)が竣工し、2025年からの本格生産に向け、客先認証取得などを進めている。

パッケージ基板用コア 第4期増強計画

新工場(新発田工場)への生産設備増設を進めており、2024年9月時点で累計投資額10億円、進捗率11%と計画どおり進捗している。
2025年7月より順次稼働予定であり、すべての設備稼働後の生産能力は、第3期投資後に比べ、約1.2倍となる。



愛工機器製作所 新発田工場

2019年度以降の設備投資の状況

期	時期	内容	投資額	生産能力	
				直前期投資比	第1期投資前比
第1期	2019年度上期から2021年度	春日井工場に生産設備を増設	34億円	約1.3倍	
第2期	2019年度下期から2022年度上期	中津川工場に穴あけ機を増設。春日井にメッキ工場を新設し、生産設備を増設	40億円 (累計74億円)	約1.2倍	約1.6倍
第3期	2022年度から2024年4月	新工場（新発田工場）に生産設備を設置	76億円 (累計150億円)	約1.3倍	約2.0倍
第4期	2023年度下期から2025年7月(予定)	新発田工場に生産設備を増設（進行中）	90億円見込 (累計240億円)	約1.2倍	約2.3倍

主な設備投資の内容（2025年3月期）②車載空調モータ



車載空調モータ生産設備の増強

世界的な電動車市場の拡大に対応するため、国内外で車載空調モータの生産設備を増強している。

目先の電動車市場拡大のスピードは緩くなっているが、中長期的には成長が続く市場であるとみており、また、当社の車載空調モータは、EVだけでなくPHEV・HEVなどでも使われており、需要拡大が期待される。顧客であるコンプレッサメーカーの動向を踏まえながら、国内外での生産設備増強の検討を進めていく。



蘇州愛知高斯電機



白鳥恵那愛知電機 白鳥工場

主な設備投資の内容

内容	投資予定額	完了時期	設置会社
中国向けモータ組立ラインの増強	約 9 億円	2024年12月 予定	蘇州愛知高斯電機（中国江蘇省）
国内向けモータコア(鉄心部)打ち抜きプレス設備の増強	約 8 億円	2025年3月 予定	白鳥恵那愛知電機（岐阜県）
国内・東南アジア向けモータ組立ラインの増強	約 5 億円	2025年3月 予定	愛知電機（愛知県）

主な設備投資の内容（2025年3月期）③建物空調モータ



建物空調モータ生産設備の増強

国内外でのエアコン需要、エアコン高効率化に応えるため、当社および海外子会社で建物空調モータ生産設備の増強を進めている。

中国華南地区の顧客に供給するため、広州愛知電機で新たにモータ組立ラインを設置している。



蘇州愛知科技



広州愛知電機

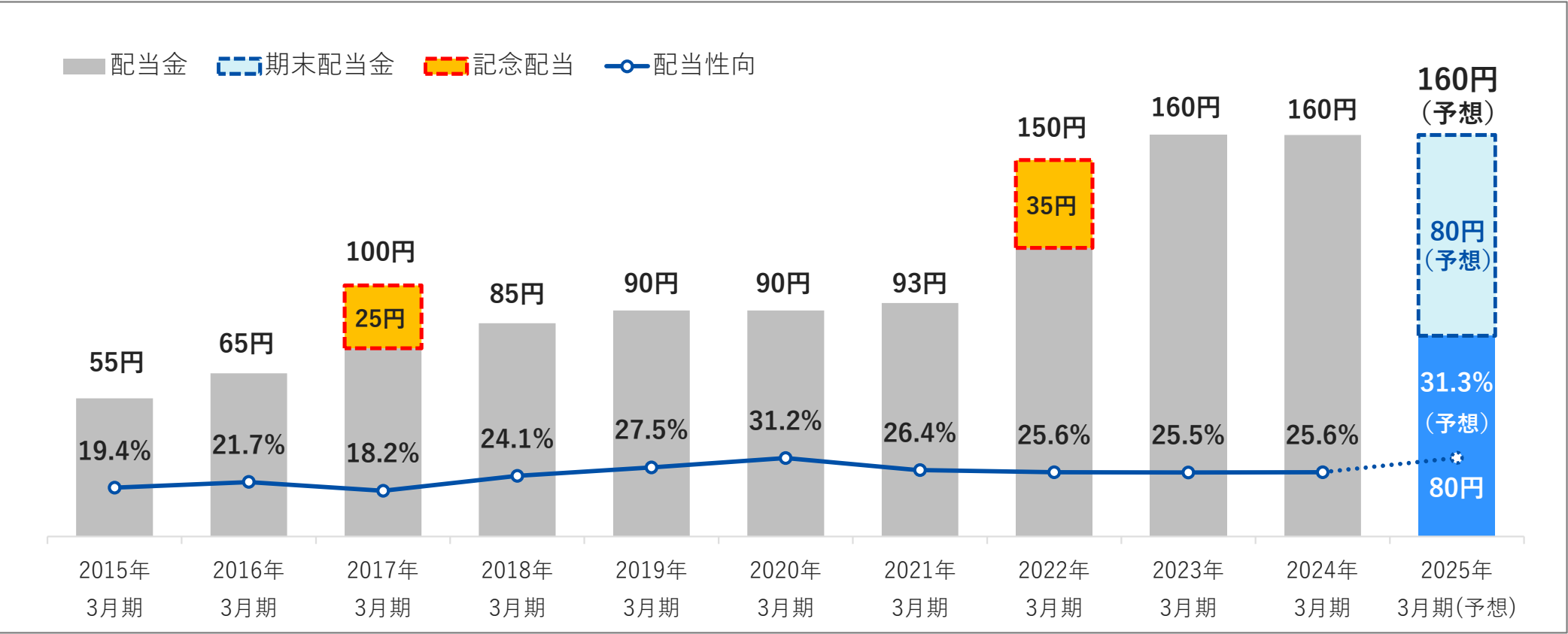
主な設備投資の内容

内容	投資予定額	完了時期	設置会社
中国向けモータ組立ラインの増強	約 8 億円	2024年12月予定	広州愛知電機（中国広東省）
国内・東南アジア向けモータ組立ラインの増強	約 4 億円	2025年3月予定	愛知電機（愛知県）

配当・株主還元策



- 株主への安定的な利益還元は経営の最重要政策と位置付け、連結配当性向の目標を30%以上とする。
- 中間配当金は80円。
- 年間配当予想は160円。連結配当性向は31.3%を見込む。
- 2024年5月に自己株式10万株を取得（発行株式総数の1.05%程度）。



(注) 2016年10月に普通株式5株を1株に併合しております。
これにより2016年9月末までの1株当たり配当金額については、株式併合後のものと整合をとるため、実績値の5倍で表記しております。

愛知電機グループは、1942年の創業以来、
技術へのこだわりと、ものづくりへの情熱を伝承し、
電力インフラや快適な生活をサポートする製品を
提供してきました。

これからも、**ものづくりを通じて、
豊かな暮らしと持続可能な社会づくりに貢献する
企業集団**を目指してまいります。



お 問 合 せ 先
管 理 本 部
経 営 企 画 部
広 報 ・ IR グ ル ー プ

TEL 0568-35-1105

<https://www.aichidenki.jp/contact.html>

< 注意事項 >

本資料の将来計画の数値につきましては、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。